

感染症における病後児保育利用の目安

※以下は目安です。最終的な受け入れの可否は、お子さんの体調や当日の状況を確認して判断します。

※いずれも、医師から病後児保育利用の同意が得られていることが前提です。

<感染症別の利用の目安>

疾患名	利用の目安
インフルエンザ	発症から5日以上、かつ解熱後3日以上経過している
新型コロナウイルス感染症	発症から5日以上、かつ解熱後24時間以上経過し、症状が軽くなっている
麻疹（はしか）	解熱後3日以上経過している
風疹（三日ばしか）	発疹が消えている
水痘（水ぼうそう）	すべての発疹がかさぶたになっている
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	腫れが出てから5日以上経過し、かつ全身の状態が良好
結核	医師から「感染の恐れがない」と診断されている
咽頭結膜熱（プール熱）	主な症状がなくなってから2日以上経過している
百日咳	特有の咳がおさまっている、または5日間の適正な抗菌薬による治療が終わっている
髄膜炎菌性髄膜炎	医師から「感染の恐れがない」と診断されている
はやり目（流行性角結膜炎）	目の症状が軽くなり、医師から「感染の恐れがない」と診断されている
急性出血性結膜炎	
溶連菌感染症	抗菌薬を飲み始めてから24時間以上経過している
手足口病	解熱後、食事がとれる状態で、発疹が落ち着いている
ヘルパンギーナ	解熱後、食事がとれる状態になっている
伝染性紅斑（リンゴ病）	全身の状態が良好
腸管出血性大腸菌感染症 (O157 O26 O111 など)	嘔吐、下痢などの症状がおさまり、医師から「感染の恐れがない」と診断されている
ウイルス性胃腸炎 (ロタ、ノロ、アデノウイルス等)	嘔吐や下痢などの症状がおさまり、24時間以上経過している
マイコプラズマ感染症	発熱や強い咳が落ち着いている
RSウイルス感染症	呼吸症状が軽くなり、全身状態が良好
ヒトメタニューモウイルス感染症	
帯状疱疹	すべての発疹がかさぶたになっている
突発性発疹	解熱し、機嫌がよい
とびひ	患部がガーゼや服で覆える状態、または乾いていること
水いぼ	
単純ヘルペス感染症	口内炎のみであれば利用可能（マスク着用）